

せいらん舎卒業生(D.S)による上智大学紹介



概要

上智大学へのアクセス

所在地：東京都千代田区紀尾井町

- ① 栗橋駅→新宿駅→四ツ谷駅（電車 1 時間 1 5 分）、四ツ谷駅→上智大学（徒歩 1 分）
- ② 栗橋駅→東京駅→四ツ谷駅（電車 1 時間 1 5 分）、四ツ谷駅→上智大学（徒歩 1 分）

学部・学科

- ・神学部：神学科
- ・法学部：法律学科、地球環境法学科、**国際関係法学科←私の所属学科**
- ・外国語学部：英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科、イスパニア語（スペイン語）学科、ロシア語学科、ポルトガル語学科
- ・総合グローバル学部：総合グローバル学科
- ・国際教養学部：国際教養学科（この学科は一般入試がなく、授業はすべて英語です）
- ・文学部：哲学科、史学科、国文学科、英文学科、ドイツ文学科、フランス文学科、新聞学科
- ・総合人間科学部：教育学科、心理学科、社会学科、社会福祉学科、看護学科
- ・経済学部：経済学科、経営学科
- ・理工学部：情報理工学科、機能創造理工学科、物質生命理工学科

上智大学の設立は？

上智大学は明治時代にキリスト教イエズス会員によって設立された大学で、長い歴史があります。英名は Sophia University となっており、Sophia はギリシア語で「最上の叡智（えいち）⇒**真実や道理につながる知恵**」を表すもので、これは大学が学生に与えようとしている究極のものであるとされています。

上智大学の特徴は？

上智大学は先述の通り **キリスト教系の大学** です。

そのため、以下のような特徴があります。

- ・キリスト教について専門的に学ぶ神学部がある
- ・キリスト教についての授業を全員が必ず受けなくてはならない
- ・大学内に **フランシスコ ザビエル像** や **教会** がある

また、国際色豊かなことも大きな特徴の1つです。

留学のサポートが充実しており、(後ほど詳しく説明します)、学内のあちこちから英語での会話が聞こえてくるのが日常となっています。

私の所属している卓球部も、部員16人のうち、中国語と日本語のバイリンガル(両親が中国人)、フィリピンからの帰国子女(日本とニュージーランドのハーフ)、ロシアからの留学生、その他留学経験者が2人、留学予定者が2人おり、国際色豊かです。

ロシアからの留学生との会話は基本的に英語なので、英語がペラペラの部員と留学生の部員との会話が聞き取れないことが多々あります…(笑)

上智大学のおすすめポイントは？

留学制度が充実している、幅広い外国語が学べる

上智大学といえば、国際的なイメージを持つ方は多いと思います。このイメージを作っているのは語学分野の強さと留学に関する手厚いサポートです。

外国語学部は6つの学科【英語、ドイツ語、フランス語、イスパニア語（スペイン語）、ロシア語、ポルトガル語】があり、外国語学部でなくても第2、第3外国語としてインドネシア語やアラビア語、ヒンディー語などの計21言語を学ぶことができます。この言語数の多さは日本トップクラスです。

そして留学に関する強みはコースが豊富であることと協定校が多いことが挙げられます。

上智大学には通常の「交換留学」のほかに「英語集中コース」、「ドクターコース」など目的に応じた多様なプログラムを提供しています。

交換留学に関しては世界中に300以上の協定校があり、自分が行きたいと思った地域がマイナーなところであっても協定校がある可能性が高いです。

この交換留学は、学費を留学先の大学には払う必要がないこと、通常は留学した分卒業が遅くなってしまうところを4年間で卒業できること、などから人気となっており、それなりの成績が求められます。

キャンパスの立地がいい、キャンパスが基本的に1つである

上智大学は最寄りの四ツ谷駅から徒歩1分という抜群の立地です。

四ツ谷駅周辺は飲食店が多く美味しい店がたくさんあります。(注：ただし値段は高いです笑)

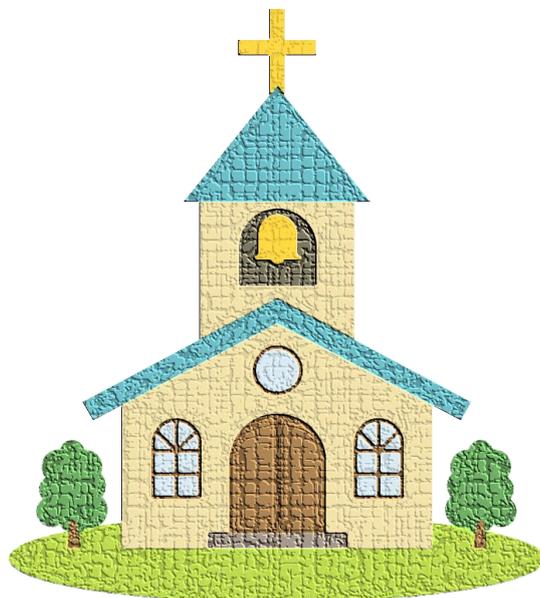
また、新宿まで4分なので空きコマ(1コマ100分)の時間や学校終わりに気軽に新宿でご飯を食べることができます。

次はキャンパスについてです。

看護学科の2年次以降以外の生徒は全員四ツ谷キャンパスで4年間を過ごすので、文系と理系の学生が同じキャンパスで過ごすことになります。

よって、いろいろな専攻の学生と接することができ、理系の教授が行う授業を文系でも受けられるので、自分の専門外まで視野を広げることができます。

(私は文系ですがプログラミングの授業を取っています)



受験制度が特殊だから受験生は敬遠しがち

(高校生向けなので小、中学生の方は流し読んでいただいても大丈夫です)

(この情報は2022年3月時点のものです。受験生は必ず最新の募集要項を確認して下さい。試験問題に関しては過去問を見てください。傾向が変わっていることがあります。)

上智大学の入試システムは一風変わっており、敬遠されがちです。

この紹介を見てくださった方はぜひ一度自分で調べてみてください！

大きく分けて上智大学には3つの一般入試方式があります。

1. 共通テスト利用型

この方式は共通テストのみで合否が決まる方式です。とても難易度が高いです。

2. TEAP 利用型

英語外部試験である TEAP のスコア提出が必須の方式です。直前になって受験しようとしても難しく、早期(遅くとも3年夏休み)から TEAP 対策をしかりしていいスコアを取っておけば有利です。(私は直前に上智受験を決めたので TEAP 自体を受けることができませんでした)

3. 共通テスト併用型（私が受験した方式です）

共通テストと上智大学の独自試験の結果から合否を決定する方式です。

この方式のおすすめポイントは**私立文系受験生と競合しにくい、共通テスト受験後の自己採点を見て出願できる**ことの2点です。

私立文系受験生は基本的に共通テストよりも個別の大学の過去問対策に重きを置く人が多いです。そのため共通テストが必須であるこの方式は決して受けやすいとは言えず、競合する私立文系受験生の数は少なくなります。

共通テスト後に出願できる点については、「出願したけど共通テストで失敗してしまったから合格が絶望的…」という事態を防ぐことができます。

各学部共通の特徴としては、国、英、選択科目＋独自試験で受けられる学科が多いことです。（2022年は文学部の一部の学科、総合グローバル学部は数学が使えませんでした）

この方式だと**国立受験生の方は文系理系問わず比較的少ない対策で受験できます**。

いくつかの学部の特徴を書いていきます。

・法学部：まさしく私が受験した学部です。2次試験がとても対策しにくい総合問題（簡単に言えば法律がテーマの現代文）なので、現代文に自信のある方は少ない対策で済むためとってもおすすめです。

・経済学部：この学部は共通テストで数学が必須となっており、私立文系（地歴選択）が受験不可能なものとなっています。数学が得意な文系の方、理系の方におすすめです。

・理工学部：この学部の特徴は理科が1科目で受けられること、物理系学科にも生物で受験できることです。

スポーツ推薦がない（大学で部活に入りたい人向け）

上智大学にはいわゆるスポーツ推薦の方がいません。

これはスポーツが強くないという欠点にもなりえますが、「大学でもスポーツを本気で続けたいけどレベルが高すぎるのはちょっと…」という高校生にとってはメリットです。

大学生活に関して

大学生になってからは自由な時間が多く、自分のやりたいことに多くの時間を使えます。私の場合、午後から授業の日があったり、なにも授業のない日があったりします。午前中に授業がある日は週2日なので、当たり前だった早起きがとてもつらいです…笑

そして、私の所属している卓球部は週4回、1回4時間の練習があります。

授業のない水曜日にいろんなラーメン屋を巡り、部活をしに大学へ行き、部活終わりにまたご飯を食べに行くというのが私の最高の楽しみです！！

(部活でご飯を食べに行くと先輩におごってもらえます笑)



自分では行けないお店に連れて行ってもらえることも…!?

大学と周辺施設、お勧めの場所



四ツ谷駅上空あたりからの写真。本当に駅の目の前です。



1号館（1932年完成）



6号館（一番新しく、
エスカレーターもあります）



大学内の『ザビエル像』



映画『君の名は。』のモデルの階段

大学から徒歩10分のところにある

Interview

Q.大学で学んでいることは？

私が所属している国際関係法学科では、基本的な日本の法律と、国際関係についての法律（国際法）について学びます。

どんな法律があるのかももちろん学びますが、その法律の中身についても学びます。

例えば日本の法律には窃盗罪というものがあり、「他人の財物を窃取した者は、窃盗の罪とし、10年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処する。」とされて

います。

簡単に言えば「他の人の物を取ったら犯罪になりますよ」というわけです。

このとき、他の人の物を取ったらなんでもかんでも犯罪になるわけではありません。

例えば本当に間違えて人の物を持って帰ってしまったとき、確かに人の物は取っていますが、有罪にはなりません。窃盗罪の成立要件に「故意」（わざとであること）が含まれているからです。

こんな風に、その法律が適用されるのはどんな時なのか、適用されないのはどんな時のかななどを勉強しています。

国際法の分野については、そもそも国際法というのはどんなものがあり、どのくらい効果があるのか、国際法というのはどのように成立するのかを学んでいます。

ただし、まだ1年生の春学期なのであまり専門的な範囲までは勉強していません。

Q.将来の目標は？

まだ卒業後のことは決まっていますが、大学生活の4年間でやってみたいと思ったことはすべてやってみるとというのが今の目標です。

Q. せいらん舎での生活を振り返って

私は小学5年生から5年間お世話になりました。当時の私は学校を休みがちだったり、先生の言うことを聞かないことがあったりとなかなかひどい生徒でした。今考えてもひどかったなと思います。しかしそんな私に寄り添い続けてくださった先生方のおかげで第一志望の高校に合格できました。本当に感謝しています。

中高生に向けて

中学高校の生活というのは当たり前ですが取り戻すことはできません。後から「ああしておけばよかったな…」「あれやってみたかったな…」と思ってもどうしようもありません。後悔のないような学校生活にすること、これが一番大事だと思います。学校生活の中で「つらい」「やめたい」と思うことは誰もがあるでしょう。そこでやめるなど言いたいわけではありません。その選択を未来の自分が後悔しないだろうか、ということ一度考えてみてほしいです。

受験生に向けて

受験というのは結果が出るまで分かりません。結果的には合格できた人も、模試の判定がずっと悪かったという人はいます。受験生の方は最後まであきらめず、後悔しないような生活を送ってもらいたいです。受験の後はさらに充実した生活が待っています！がんばってください！

自己紹介

せいらん舎 19 期生 (D.S)

上智大学法学部国際関係法学科

所属組織：卓球部

出身高校：不動岡高校

画像出典

<https://www.takeda.tv/mizonokuchi/blog/post-144037/>

<http://www.sophialaw.jp/faculty/outline/photo.html>

<https://www.fanatic.co.jp/case/case-22/>

<https://aumo.jp/photos/1799944>